



ならチャレンジレター 令和5年度 第2号

奈良県では、福祉・介護人材の確保を目的として、平成28年12月から「奈良県福祉・介護事業所認証制度」の運用を開始しました。職員の人材育成や処遇向上等につながる基準をクリアした福祉・介護事業所を知事認証し、公表する制度です。学生や求職者の方が、知りたい情報を随時閲覧でき、安心して福祉・介護の仕事を選択し、就職できる事業所を広く紹介してまいります。

チャレンジ事業所支援 活用先インタビュー

認 証制度に出会ったきっかけは何ですか？

所長から認証制度取得の提案があり、制度の存在を知りました。そこから、コンサルティングを受けながら取得することが出来ると知り、チャレンジ事業所支援の活用を始めました。最初は他社のチャレンジレターでの取り組み事例を見て、ハードルが高いなと思いました。正直、コンサルティングを受けるまでは、「自分でできるものなのか」と不安がありました。



【法人名】特定非営利活動法人 大空の家
【形態】障害福祉サービス、地域生活支援事業ほか
【所在地】奈良県生駒郡平群町
【対応者】主任 和田野 八千代様

チ ャレンジ事業所支援は活用できましたか？

今まで暗黙知として可視化されていなかったことを可視化することが出来ました。例えば、今まで研修を計画立てすることなく、行っていました。計画として書類で整備することにより研修の実態について可視化することが出来ました。また、これまで実施をしてこなかった面談制度について、意義を知り、認証取得を機に整備しました。

認 証取得後の進捗状況はいかがですか？

現在、年に一回のペースで個別面談を実施しています。面談を通じて職員の考えや想いを知ることができ、この面談が職場の改善に寄与していると実感しています。また、新人研修や人材育成においては、計画的に進めています。

人 材育成の工夫や、運営の特徴はどのような点ですか？

内部教育による人材育成を重視しており、毎日の終業後にその日出勤しているパートを含めた全職員と振り返りを行っています。そして、その日発生した問題はその日の内に解決するように心がけています。これにより、職員それぞれが問題に対しての解決手法を学び、スキルアップに繋がっています。

今後の展望：「若手を巻き込んで事業を推進していく」

業界全体を見ても、役職者が現場を手伝うケースが多い一方で、現場の職員が役職者を助ける機会は少ないと感じます。なので、権限移譲や階層をまたいで巻き込んでいく意識を強める必要があると考えており、「どのようにしたら他の人を巻き込んで事業を推進させることができるのか」が今後の課題だと考えています。

主任 和田野 八千代様

<チャレンジ事業所支援の流れ>

チャレンジ宣言

県ホームページ掲載

無料初期診断・相談

認証取得に向け準備

認証取得



小規模事業所向け認証制度チャレンジ事業所に申請します。(別紙申出書によりお申出下さい)



奈良県のホームページに認証にチャレンジしている事業所である旨を掲載します。



専門家(県からの委託)がご訪問し、認証取得に向けた無料相談に対応します。



認証取得に向けた体制整備、制度の周知発信などに取り組んでいただけます。



認証基準をクリアすることで、認証事業所となり、改めて県HPに掲載いたします。